平成25年度 釧根地区 市民公開健康フォーラム

会計課 五島 良幸

地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院である当院の事業として、平成25年9月21日㈯午後1時から釧路プリンスホテルにて平成25年度釧根地区市民公開健康フォーラムが開催されました。

フォーラムでは、地域住民の方を対象に、患者さんへの体の負担が少ない、回復の早い、優しいこれからの癌手術について講演をおこないました。

はじめに、国際医療福祉大学学長で日本外科学会を代表する北島政樹先生から「患者さんにやさしい、安全、安心な手術」を演題に、実際の手術現場を撮影した映像をもとに講演がありました。

続いて、杏林大学付属病院院長・甲能直幸先生の「頭・頸部領域のがん」、国立がん研究センター中央病院乳腺外科科長・木下貴之先生の「乳がん」、金沢大学消化器・乳腺・移植再生外科准教授・藤村隆先生、北海道大学医学部形成外科准教授・古川洋志先生の「悪性黒色腫」の講演をおこない、多数の市民の方が熱心に最新の医療技術に耳を傾けていました。

釧路ろうさい病院 緩和ケア市民公開講座報告

釧路ろうさい病院緩和医療委員会 地域ワーキンググループ 佐伯 香奈

釧路ろうさい病院では、緩和ケアが「いつでも」「どこでも」受けられる地域を目指して活動しております。今年度は市民の皆様に〝緩和ケアとは何か〟〝釧路における緩和ケアの現状〟を知っていただくことを目的に市民公開講座を企画しました。

講師は当院の緩和ケアチームの代表をしている小笠原副院長と、在宅療養支援診療所として地域で訪問診療を行っている杉元医院の杉元院長がお忙しいなか快く引き受けてくださいました。講演は2部構成で、1部は小笠原より「緩和ケアとは」、2部では杉元先生より「これからの在宅医療～在宅ホスピスと地域連携～」という題目で開催しました。

11月2日㈯の午後、釧路市内だけでなく、浜中や厚岸からもお越しいただき、合計97名の参加者となりました。87名の方にアンケートにご協力いただきまして、45.9％が緩和ケアについて知る機会が〈はじめて〉であると解答され、97.7％の方が緩和ケアについて〈理解できた〉〈まぁまぁ理解できた〉との解答が得られました。また、市民講座を聞いて緩和ケアに関する意識の変化があったかの項目では、78.1％の方は変化があったと解答されておりました。その変化の内容としては「知らないことがたくさんあった」「麻薬に対する誤解」「痛みだけでなく心のケアの大切さを感じた」「終活に関して考えが広がった」「在宅看取りへの不安が減った」「がん医療のみではないことがわかった」などが聞かれました。市民公開講座を終えての感想では、「気持ちが楽になった」「死ぬことではなく、どう生きるかが大切」「釧路の在宅医療の取り組みを知れてよかった」「家族と自分たちのこれからのことをよく話し合っておきたい」などが聞かれております。

以上から、今回の市民公開講座を通して、緩和ケアについて正しい知識、そしてどこにいても緩和ケアを受けることができるのだという理解をしていただけたと考えます。また、地域の皆様が、このような学びの機会を望まれているというニーズを実感し、今後も皆様のご期待に対応できるよう、検討していきたいと考えております。

釧路労災病院ピンクリボンキャンペーン実践報告

釧路労災病院 緩和医療委員会 地域連携WG ピンクリボンプロジェクト 森 美代子

平成25年度も例年どおり、10月1日から1ヶ月間をピンクリボンキャンペーンと称し乳がん啓発活動を実施しました。目的は、ピンクリボンキャンペーン活動を行うことで、乳がんの早期発見・早期治療の重要性を啓発し、乳がん検診率の向上を目指すことです。

①ピンクリボンサンデーの実施（日曜日のマンモグラフィ検診）

30名の市民の方が検診を受けました。今年で5年目を迎え、我々スタッフもよりスムーズに対応できるようになったと自負しております。アンケート結果では、『日曜日の検診は今後も是非継続して欲しい』と多くの要望が寄せられました。

②乳がん患者会：『シャイニーピーチ』とのコラボレーション

現在の患者会の会員数42名

(1)ピンクリボンキャンペーン時は乳がん患者さんからのメッセージを1階ロビーに展示しました。

(2)平成25年6月は乳がん患者会が主体となって、自分たちで手作りしたピンクリボンの看板を背にフリーマーケットに出店し、手作り作品の販売を兼ねて啓発活動を実施しました。

③栄養管理室によるお膳へのメッセージカードの配布

今年は入院患者さんとその受け持ちの看護学生さんに、メッセージカードの作成をして頂きました。

マンモグラフィサンデーの昼食のお膳に、乳がん検診啓発のメッセージカードを配布しました。

＊入院患者さんや家族の方々にも自己検診や乳がん検診の必要性を御理解いただき一人でも多くの方が検診に行かれる事を期待しています。

④院内のレイアウト

(1)1階正面玄関前ロビーに巨大ツリーを飾る。

(2)病院ロビーのエントランスホールに垂れ幕とピンクリボンを設置。

(3)病院正面玄関前に乳がん検診の幟を4個設置。

(4)病棟、各科外来、院内の案内掲示板などにピンクリボンポスターを掲示。

(5)当院こどもランド園児によるメッセージポスター、新聞紙で作成したトトロの設置。

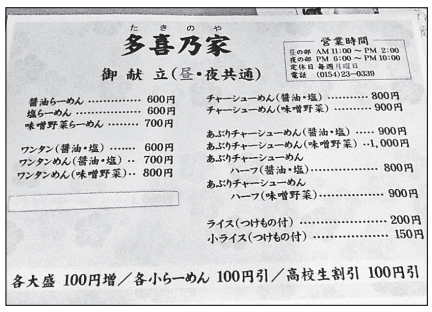
＊今年度のピンクリボンの飾り付けでは、当院保育園子どもランドの園児およびスタッフの皆様に大変お世話になりました。また、今年も皆様が検診に行く為の工夫を凝らして企画していきたいと思います。

看護師さん募集

お問い合わせは当院総務課まで
☎0154（22）7191
担当・総務課　大浦

くろっぺ 病院周辺のおいしいお店紹介

釧路、札幌、東京で修行して、阿寒湖畔のホテルで料理長を長年務めたマスターが、9年前に開いたお店がここ「多喜乃屋」さんです。ろうさい病院職員の多くが馴染みになっているお店でもあります。



▲どれにしようか、迷ってしまいます

第6回　多喜乃屋さん　釧路市中園町18番 Tel.0154-23-0339

息の合った動きで、カウンター越しにもご夫婦仲の良さが感じられました。

記者は、夜にも関わらずラーメンを食べに行きましたが、夜の開店時間から次々にお客さんが入って来ました。ラーメンは昔ながらの懐かしい味で、大きめのチャーシューもくどくなくペロリといけちゃう一杯でした。味噌ラーメンは野菜たっぷりで白菜、もやし、シメジなどなどボリューム満点でした。お勧めできない料理はメニューにないので、お好きなものを召し上がって欲しいとは奥様の談。メニューにない料理も、材料と混み具合によっては対応して頂けるとのこと。味付けも希望に沿うよう調整して頂けるそうです。

実際、記者が取材中も「チャーハン」「卵焼き」などのメニューにないものも注文が入っていました。プロの技が光る料理とホッとするラーメンを食べに一度足を運んでみてはいかがでしょうか？

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年も釧路労災病院をよろしくお願いします。今年はソチオリンピックもあり、日本選手はどれくらい活躍できるか、楽しみです。また、楽天の田中マー君はアメリカでどれくらい活躍できるでしょうか？昨年活躍したダルビッシュや上原はどうでしょう？国内では日本ハムは良い成績を残せるでしょうか？コンサドーレはJ1に上がれるでしょうか？とても期待したくなる一年です。

神経内科 津坂 和文

新年がスタートしました。今年のコンサドーレはどうなるでしょうか？ベトナムの英雄レ・コンビン選手は残念ながら退団となりましたが、元日本代表小野シンジ選手が入ってくるようです。大変楽しみな一年になりそうです。

薬剤部 梶原 徹

寒い寒い冬の到来です。転倒にはくれぐれも気を付けて下さい。

リハビリテーション部 田口 暢秀

初詣で引いたおみくじに書いてあった「欲張らないように」の言葉を胸に一年過ごしたいと思います。一番の敵は「食欲」です。

栄養管理室 山田 千尋

明けましておめでとうございます。お正月は、ゆっくり大学駅伝を楽しみました。この後は、冬季オリンピックを楽しみにして、日々頑張ろうと思います。ただ、少し丸みを帯びた体型を改善するためには、見るだけでなく、体を動かすことも必要かな…とも思っています。健康に一年が過ごせますように。（私も、皆様も）

看護師 伊在井 妙子

初詣で引いたおみくじが大吉でした。ネットで大吉を引く割合を調べると、大吉17％で、他のくじは、吉35％、半吉5％、小吉4％、末小吉3％、末吉6％、凶30％（東京・浅草寺の場合）ということでした。今年は、いいことがありそうな気がします。

会計課 五島 良幸

今年は沖縄旅行を目指し、500円玉貯金を頑張りたいと思います。

中央検査部 遊佐 純教